



目次	説教 イエス・キリストの真実によって …… 青木 豊 …… 1
	教会の課題 『日本キリスト教会年表』（2020年）発行について …… 三輪 地塩 …… 2
■	新約聖書学への招待 ルカ2章49節の新しい訳 第5回 …… 住谷 真 …… 3
	旧日本基督教会の草創期—植村正久を中心に(5) イエス・キリストの事実から歴史を問う① …… 崔 炳一 …… 4
■	教会、この地とともに② この地にある教会として …… 清水 靖子 …… 5
	6人の牧師による座談会③ …… 編集部 …… 6
■	定期中会報告 日きの未来は長老にあり …… 東京中会 …… 7
	沖縄での第68回定期中会報告 …… 九州中会 …… 7
	渡辺信夫先生 追悼文 …… 南 純 …… 8
	教会の祈り …… …… 8



イエス・キリストの真実によって

「神の義はイエス・キリストの真実によって信じる者すべてに現されたのです。」
(ローマの信徒への手紙3章22節 聖書協会共同訳)

あお き ゆたか
青 木 豊

お気づきになったでしょうか。冒頭に掲げた「聖書協会共同訳」（2019年12月刊行）では、従来と翻訳が変わっています。新共同訳では「イエス・キリストを信じることにより、信じる者すべてに与えられる神の義です」と訳され、口語訳では「イエス・キリストを信じる信仰による神の義であって、すべて信じる人に与えられるものである」と訳されています。「イエス・キリストを信じる信仰」を「イエス・キリストの真実」に変更したのです。原文の直訳は「イエス・キリストのピステイス」で「ピステイス」は「信仰」と訳されますが「真実」と訳すこともできます。「イエス・キリストの信仰」では意味が通らないと考えて、従来は「イエス・キリストに対する信仰」と理解して翻訳していました。それも間違いとは言えません。しかし、聖書協会共同訳は「ピステイス」を「真実」の意味にとり「イエス・キリストの真実」と翻訳を変えたのです。

この変更によって「わた子どもが義とされ、救われる根拠がイエス・キリストにある」ことがより一層明確になったと、わたしは喜んでいます。なぜなら、わた子どもにとって大切なはずの「信仰による義」を誤解している人が少なくないからです。「信仰による義」とはわた子どもが「自らの信仰」によって神の前に義とされるということではありません。わた子どもを義とするのは、ただ主イエス・キリストが十字架で死んでくださった「贖いの業」によります。「キリスト・イエスによる贖いの業を通して、神の恵みにより価なしに義とされるのです」と語られている通りです（聖書協会共同訳3章24節）。このことは既にハイデルベルク信仰問答が「自分

の信仰の価値のゆえに神に喜ばれる、というのではなく」と教えていたことです（問61）。

わた子どもを義とする「キリスト・イエスによる贖いの業」を、聖書は「イエス・キリストの真実」と言っています。この場合の「真実」は「真実を尽くす」という意味で、「誠実」と理解することもできます。ある人は「イエス・キリストだけが真実であり得て」と注解しています。十字架で死なれたイエス・キリストの前で、自らの「不真実」を思わざるを得なかったのでしょうか。たとえわた子どもが不真実であっても、イエス・キリストの方はわた子どもに対して真実であり続けてくださいます。その真実とは、父なる神に対する、そしてわた子どもに対する「愛の真実」です。だからこそ、わた子どもの救いは確かなのです。それを受け入れ、受け取ることが「信仰」です。「信仰による義」は「律法の行い」をわた子どもの「信仰」に入れ替えただけのことではありません。それまでとは全く次元が違う新しいことが、「今や」イエス・キリストによって起こったのです。最早わた子どもは、救いの根拠を自らの内に一切持たず、その必要もなくなったのです。

そもそも、わた子どもは命の根拠を自らの内に持っていない。それなのに、生きている根拠、生きていることの価値を自らの内に求め、自らの手で確保しようとしてどれほど苦しむことでしょうか。結局は挫折する他はないのに、それと対立して聖書が告げる「イエス・キリストの真実によって」とは、なんと甘く、麗しく響く言葉でしょうか。（高知旭教会牧師）